

中 学校に馬が来た！ お仕事紹介出張授業で馬に携わる仕事を学ぶ



7月2日、美浦中学校において、2年生生徒を対象に「お仕事紹介出張授業」が実施され、J R A 美浦トレーニング・センターから、大竹正博調教師、齋藤淑美調教助手（大竹厩舎所属）、檜垣卓志獣医師（J R A 競走馬診療所）による講演が行われました。

馬と関わる仕事をする3人により、それぞれの仕事内容や、現在の仕事を選んだ理由、仕事の中で楽しいことや大変だと感じる時などの話がありました。講演は、競馬番組で活躍中の美浦村地域おこし協力隊・南川麻綾さんによる司会進行のもと行われ、また、生徒からの馬や仕事、競馬についての質問で盛り上がりしました。

講演後は、乗馬苑の馬が校庭に登場し、引馬実演、触診実演、駆足披露などが行われ、生徒たちからは実物の馬の迫力に驚きの声が上がりました。実際に馬にも触れる体験もし、生徒のみなさんにとって貴重な経験となりました。

鹿 島アントラーズフレンドリータウンデイズ「美浦の日」開催 サッカーを通じた地域振興イベント

6月14日、茨城県立カシマサッカースタジアム（鹿嶋市）において、鹿島アントラーズフレンドリータウンデイズ「美浦の日」が開催されました。開催にあたり、美浦村内在住・在勤・在学の方を対象に、抽選で当日の観戦に無料招待されました。

試合前には、スタジアム場外のメルカリロード内特設ブースにて、村の若手経営者らが集った「まちづくり美浦」と、うな重バーガーでお馴染み「とみた家」の出張販売が行われ、大盛況となりました。

ステージイベントでは、みほ一すが登場し、来場者とのふれあいや写真撮影が行われ大変盛り上がりしました。



ス イセンの球根を植栽 開花が楽しみです

6月25日、チャレンジいばらき県民運動推進員の連絡会である「大好き美浦村ネットワーク協議会」（松本政幸会長）の皆さんが、花いっぱい事業の一環として、村内有志の方々から分けていただいたスイセンの球根を、大山湖畔公園へ植栽しました。来年春には可憐な花が心を和ませてくれるでしょう。





防訓練を実施

3市町村が連携し水害への対応要領を確認



6月14日、木原地内の霞ヶ浦堤防において、霞ヶ浦地区水防訓練が実施されました。

美浦村・稲敷市・阿見町の消防団員の合同で行われたこの訓練は、大雨等による水害に備え、隣接3市町村の協力体制を強化するとともに、水害への対応能力向上を目的としています。

当日は、稲敷広域消防本部職員による指導のもと、消防団員約60名が参加し、土のう作成、土のう積み、各種水防工法要領を確認しました。



浦村DAY開催

フレンドリータウンとしてみんなで応援！

7月5日、晴天スタジアム美浦において、村とフレンドリータウン協定を締結するプロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグ所属「茨城アストロプラネッツ」が、「埼玉武蔵ヒートベアーズ」と対戦し、熱戦を繰り広げました。

当日は美浦村DAYとして村内在住・在勤・在学の方が無料招待され、大勢の方が選手達に声援を送りました。始球式は中島村長が務め、大変盛り上がりしました。



ヨイナスみほ大躍進！

練習の成果を発揮。おめでとう！

★大会名 第33回関東ジュニア女子新体操選手権大会予選会

★期 日 7月6日(日)

★会 場 笠松運動公園体育館（ひたちなか市）

【団体競技の部】

第1位 ジョイナスみほ新体操クラブ

加藤紬希(中3)、敷宮 杏(中2)、

松本珠希(中1)、江原杏莉(小6)、

浅野紗和(小6)、須賀千夏(小6)、

坂本美桜(小5)



課題を克服し、パワーアップした演技で8月の本戦に挑みます！

本選：8月30日、31日 山梨県

祝 シルバーリハビリ体操指導会 4 名が県知事賞受賞

高齢者のいきいきとした生活に貢献

5月22日、本村シルバーリハビリ体操指導会の4名が県知事賞を受賞され、感謝状が贈呈されました。

シルバーリハビリ体操とは、介護を予防し、高齢者がいきいきとした生活を送ることができるよう考案された体操です。

同会は、茨城県が認定した指導士で構成されており、地域の活性化と高齢者の健康づくりなど、地域に密着したボランティア活動で活躍されています。今回、永年にわたる体操の指導と普及に貢献した実績が認められての受賞となりました。

受賞された4名のみなさん、おめでとうございます。



小学校内覧会開催

当時を懐かしみ、思い出を共有する時間

6月29日、今年3月に閉校となった木原小学校、安中小学校、大谷小学校において、旧小学校内覧会が行われました。卒業生や地域住民の方など、延べ259名もの参加があり、大盛況となりました。

卒業生同窓会として参加したグループもあり、恩師とともに卒業記念制作や教室を見て回りながら、思い出を語り合っていました。参加者からは「今は県外在住だが、数年ぶりに村へ帰ってきた。旧友と再会でできて嬉しい。」「当時は大きく感じた机や椅子が、今見ると小さい！」などの声があり、長年地域に根差し親しまれてきた校舎の中で、それぞれの記憶を懐かしんだようでした。



子どもスポーツまつり開催

地域交流を通して様々なスポーツにチャレンジ



6月15日、農林漁業者トレーニングセンターと木原地区多目的集会施設において、「2025美浦村子どもスポーツまつり」(主催：美浦村子ども会育成連合会)が開催され、子どもたちと保護者、役員、ボランティア合わせて125名の参加者が様々な競技を楽しみました。

競技は、「美浦フリースケートクラブ」によるフリースケート体験、「ジョイすぽ」によるコーディネーショントレーニング体験など、美浦村公認地域クラブの協力によるものや、子どもたちの放課後に様々な体験活動を支援する「子どもの遊び場」など、地域の人たちとの交流をメインに実施されました。また、同じく公認地域クラブの「ボランティアクラブ」からは中学生の参加もあり、多世代の交流で大いに賑わいました。

美浦村子ども会育成連合会の高嶋靖会長は、「大勢の子どもたちが参加して楽しい時間を過ごせた。支えてくださった保護者や役員、ボランティアに感謝したい。」と話しました。